

教育委員会10月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年 10月 5日（木） 午後3時から午後3時30分まで

- 2 場 所 教育委員会室

- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一
同職務代理者 近 藤 守
委 員 塚 田 まゆり
委 員 茅 野 理 恵

- 4 説明のために会議に出席した者
教 育 次 長 勝 野 学
教育次長副任兼 前 島 卓
学校教育課長
教育次長副任兼 野 池 達 朗
家庭・地域学びの課長
総 務 課 長 北 島 克 彦
保健給食課長 山 口 恭 司
文化財課長 石 坂 陽 子
総務課長補佐 穂 川 さゆり

- 5 書 記 総 務 課 児 島 真 季
庶務担当係長

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

10月になり、やっと秋らしくなってきたが、朝晩は急に冷え込み、寒暖差が激しい日もあるので、体調管理には十分気を付けていきたいと思っているところである。

学校においては、2学期が始まり、新型コロナウイルス感染症による学級・学年閉鎖が一時増加し懸念されたが、今現在は落ち着いている状態である。その一方で、インフルエンザの流行が早く、それによる学級閉鎖が増加傾向にある。今後、本格的に寒くなれば流行シーズンを迎えると思われるので、これまでどおり、手洗い・うがいなど、感染症対策を十分に行っていきたい。

先月27日に、松代地区の住民自治協議会とPTA役員の皆様が訪問され、児童数が減少している清野小学校について、令和6年度末（令和7年3月末）をもっての閉校と、通学区・通学支援についての要望をいただいた。教育委員会としても、地域の皆様の御決断を重く受け止め、子どもたちの新たな学びの場への移行について、精一杯取り組んでまいりたい。

新聞等でも報道されたが、学校現場の様々な課題を把握するため、文部科学省が実施している、児童・生徒の問題行動、不登校調査の令和4年度の結果が公表された。その調査結果によると、小・中学校で30日以上欠席した児童・生徒数が全国で29万9,000人と、前年比22.1%の大幅増となり、昨年度の過去最多数を更新したということである。不登校の背景は様々だと思うが、「無理して学校に行く必要はない」という、不登校への理解が広がったことも要因の一つだと考えている。長野市内の小・中学校の不登校児童・生徒数も全国と同様に増加しており、昨年度と比較し、約150人増えているという状況にある。現在、来年4月のSaSaLAND開所に向けて準備を進めているところだが、教育支援センターやフリースクール、あるいはカウンセラーなど、どこにもつながりのない児童・生徒への対応や支援が喫緊の課題であると考えている。今後は、不登校という結果への対応だけではなく、不登校にならない、させないという点にも重点を置いて取り組んでいく必要がある。また、本日報道されたが、不登校の実態について分析するため、全国の不登校となっている児童・生徒や家庭へのアンケートを文部科学省が進めており、今年度内に結果を取りまとめるということである。文部科学省が毎年実施している、児童・生徒の問題行動、不登校調査は、回答を全て学校が行っており、学校側と不登校児童・生徒本人や家庭との認識にズレが生じているのではないかと懸念があった。アンケートを通じて、詳細な理由の分析ができれば、対策が変わってくるのではないかと文部科学省は見ているようである。また、不登校の理由として一番多いのは、無気力・無関心ということだが、他の理由と比べて対策が難しいとされている。こうしたことも、当事者アンケートを通じて理由を深く掘り下げていくということであるので、結果については、我々も注目し、今後の対応の参考にさせていただきたいと思っている。

<一般行政報告>

報告1号「職員の人事異動について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島総務課長が説明した。

報告2号「令和6年度使用 長野市立小・中学校の教科用図書について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

報告3号「おひぎで絵本事業の絵本変更について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・ 8月24日に行われた、長野市おひぎで絵本事業絵本選定委員会において、委員から、あらかじめ推薦絵本を出していただいた中で、新たに配布したい絵本があるとの意見があったことから、変更したもの
- ・ 選定理由として、親子の触れ合いのきっかけとして、童歌の絵本が充実してきていること、絵がはっきりしていること、音程に関係なく唱え文句で誰がどんなリズムで読んでも伝わる絵本であること、今の保護者の方たちには新鮮な絵本ではないかということ、また、童歌の文化を届けるという強い思いがある。また、日本NPOのブックスタート広報誌にも取り上げられている。
- ・ 「ぼんちんぱん」を外した理由は、食べ物とリズムを楽しむという同じジャンルの絵本であるということからである。

丸山教育長

絵本は5冊と決まっているのか。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

5冊以内となっている。

報告4号「旧横田家住宅の防災施設整備工事に伴う休館について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

石坂文化財課長が説明した。

- ・ 令和元年度の首里城の火災をきっかけに、文化庁が示した国宝・重要文化財の防災対策のガイドラインに基づき、見直しを行い実施するもの
- ・ 休館期間については、工事事業者と松代文化施設等管理事務所で具体的な協議が進んだことから、令和6年3月末までとなった。
- ・ 近隣住民への説明会は、9月29日に実施した。

委員 国からの補助金はあるのか。

石坂文化財課長

総事業費の約50%を国の補助で行うものである。(資料に記載のある)事業費の半分が長野市の負担額である。

丸山教育長

首里城の火災によって、補助金は増額されたのか。

前島教育次長副任兼学校教育課長

首里城は復元された建物であったが、火災で内部から燃えることが分かったことから、文化庁の予算が増額され、全国で集中的に行っている中に、今回の工事も滑り込んだという状態である。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業1件、共催事業0件、後援事業39件（賞状交付0件）

次回以降の日程確認（北島総務課長）

11月定例会 11月1日（水）午後3時 教育委員会室

12月定例会 11月29日（水）午後3時 教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員